

近年は苦しい“懐具合”

今日は祝日。しかも金曜日ということで3連休の人も多いのではないのでしょうか。ひたすらごろ寝をする人は別として、どこかにでかけたり、普段できないことをしてみたり、連休は何かとお金が必要のところですよ。

今回は、総務庁が実施している家計調査の家計消費支出のデータから「こづかい」、特に「世帯主のこづかい」についてみてみましょう。

家計消費支出は、全国平均で平成5年から平成10年まで、6年連続して実質減少を続けています。不況によって収入が低迷しているため、消費支出が控えられているようです。

家計消費支出の一部である「世帯主のこづかい」についてはどうでしょうか。

家計調査における「こづかい」とは、昼食代、交際費やたばこ代など用途が明らかになったものを除いたポケットマネーのことですが、その1か月当たりの平均額は、グラフからわかるように、バブル経済が崩壊した直後の平成4年をピークとして、年々減少の傾向にあります。

平成10年は、全国では17,737円（家計消費支

出328,186円の5.4%）、水戸市では19,230円（家計消費支出333,469円の5.8%）となり、ついに平成元年をも下回ることになってしまいました。

かつて、経済成長期やバブル経済の時期には収入が増え、「こづかい」の額も少しずつ増えてきましたが、近年は苦しい懐具合になってきていることがわかります。

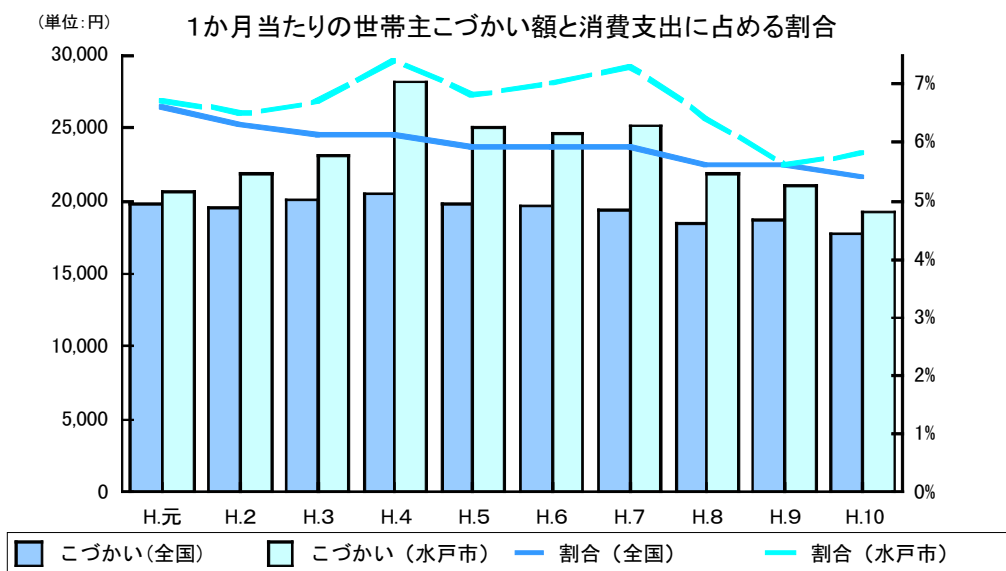
なお、水戸市の「世帯主のこづかい」は、全国平均との差は縮まりつつあるものの、平成元年からずっと全国を上回っています。

家計消費支出が全国平均を上回っているためか、家計のやりくり上手のおかげかは家計調査からは何ともいえませんが、限られた財布の中身をできるだけ有効に使って、今日から3日間、思いっきりリフレッシュしたいものです。

※家計の消費支出：日常生活を営むに当たり必要な商品やサービスへの支出をいう。

（県統計課）

平成11年2月11日掲載



※「ふるさとおもしろ統計学」は第2、第4金曜日、茨城新聞に掲載されています。

最も身近な経済指標

皆さんの初めてのデートの場所はどこでしたか。初デートは映画館だった、などという方も、いるのではないのでしょうか。

ところで、その時の映画のチケット代はいくらだったか覚えていますか。10年前（平成元年）は約1,500円、20年前は1,200円、そして、30年前はわずか400円でした。現在のチケット代は1,800円ですから30年前と比べると4.5倍です。もっとも当時の実収入は現在の6分の1ですから、400円のチケット代というのは、決してお手軽ではなかったようです。

さて、映画のチケット代に限らず、物価は経済情勢をみる上で欠かすことのできない指標です。今回は、総務庁の小売物価統計調査から、本県（※水戸市）の消費者物価について見てみましょう。

近年の消費者物価は、比較的緩やかに上昇していますが、平成元年以前の10年間は29%の伸びであったのに対し、元年以降の10年間は10%の伸びにとどまっております。物価の上昇率は落ち着きを取り戻しています。しかし、個別の動きを見るとバラツキがあります。

具体的に、ここ10年間の増減率の内訳をみると、際立って目立つのが教育費の上昇です。中でも「国立大学の授業料」は大きく値上がりしています。そのほかにも「だいたいず」、 「理髪料」などが値上

がりしています。

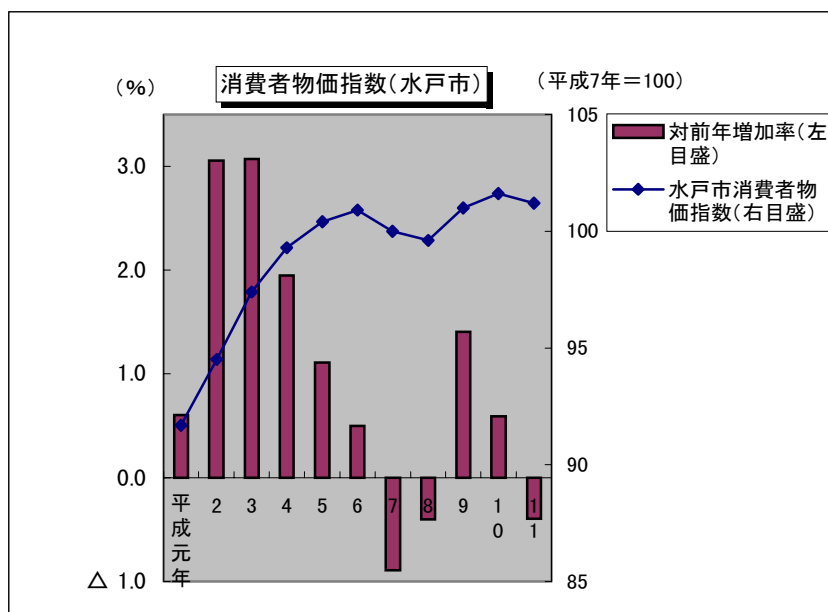
逆にこの10年間で値下がりしたのは、「米」「洗濯用洗剤」「ガソリン」「ビデオデッキ」などです。これらは、規制緩和による新たな流通形態、例えばディスカウントショップなどの登場も一因となっているようです。

さて、先月公表された平成11年中の水戸市の消費者物価指数（総合）は、前年と比べて、（－）0.4%の落ち込みをみせました。前年比でマイナスとなったのは、平成7年、8年に続いて、現行方式で調査を開始した昭和45年以降3度目です。これは、消費低迷や、価格競争の激化などが原因と考えられます。

先の映画のチケット代は、消費者物価指数（総合）の動きとほぼ同じ傾向となっていますが、教育費やビデオデッキの物価の動きは、中年の人たちにとっては生活実感としてうなずけるものがあるかと思えます。このように消費者物価は、私たちが最も身近に景気を実感できる経済指標です。消費者物価は、指数として毎月公表されていますので、今後注目していただければと思います。

※小売物価統計調査は主に各都道府県の県庁所在地が対象。
（県統計課）

平成12年2月25日掲載



※「ふるさとおもしろ統計学」は第2, 第4金曜日, 茨城新聞に掲載されています。

この資料は、平成12年1月中に行政情報センターに到着した主なものです。ご利用ください。

行政情報センター 茨城県庁舎3階 TEL 029-301-2152

行政資料名	編集・発行所(者)	行政資料名	編集・発行所(者)
中央省庁関係		茨城県関係	
・民間給与の実態(平成11年)	人事院	・税務統計書(平成10年度)	税務課
・国民生活白書(平成11年版)	経済企画庁		
・文部統計要覧(平成12年版)	文部省	会社・公社・団体等	
・人口動態統計(平成10年)	厚生省	・市区町村別自動車保有車両数 (平成11年)	自動車検査 登録協会
・国民生活基礎調査(平成10年)	〃	・地域経済総覧2000	東洋経済 新報社
・簡易生命表(平成10年)	〃	・2000データグラフ 世界各国要覧	二宮書店
・農村物価統計(平成10年)	農林水産省	・地理統計要覧2000	〃
・国際農林水産統計(1999)	〃		
・商業統計表(平成9年) ～立地環境特性別統計編～	通商産業省		
・地域別鉱工業指数年報(平成11年版)	〃		
・全国市町村要覧(平成11年版)	自治省		

編集後記

本誌にも35,36ページに掲載されており、茨城新聞で第2,第4金曜日に掲載されている「ふるさとおもしろ統計学」が、連載開始から間もなく4年を迎えます。すでに回数は87回を超えており、担当者は、毎回、ネタ探しに頭を痛めていますが、今後ともできる限り連載を続けていければと考えています。(KM)

統計いばらき

2000.3 No.550

平成12年3月発行

編集兼発行/茨城県企画部統計課

茨城県統計協会

〒310-8555 水戸市笠原町978-6

電話 029-301-2637

FAX 029-301-2669

印刷所/株式会社トキワコーポレーション